

活動報告

日付：2023年 1月 21-22日

活動：メーチャンタイ村へのコーヒー豆摘み取りスタディーツアー

コーヒー豆摘み取りスタディーツアー兼ボランティアツアーが2023年1月21日-22日の1泊2日で実施されました。総勢30人の参加でそのうち日本人が24名、タイ人が2名、シンガポール人1名、ナイジェリア人1名、インドネシア人1名、台湾人1名でした。今回はタイのチュロンコン大学との連携で同校の大学生が5名参加しました。

初日はチェンライ空港に朝の9時に集合した後、ホワイトテンプルに途中よりお寺見学と昼食、そして午後2時に長い山道を4輪駆動の車でガタガタ道を登り、標高1400メートルのメーチャンタイ村に到着しました。30人からなる村人の若者グループが一同をオープンエアーのコーヒーショップで待ち受けてくれて、おいしいコーヒーを御馳走してくれました。オリエンテーションミーティングの後、コーヒー豆の乾燥や加工の現場で、水洗式、ハニープロセス、ナチュラルプロセス、ASD（嫌気性発酵）加工の作業の現場に案内してくれ、説明をしてくれました。その後、コーヒー豆加工場でコーヒー豆の脱穀の作業や焙煎の作業を視察しました。

夕食後、アカ族の衣装を着た村人たちが伝統の踊りで一同を歓迎してくれました。キャンプファイヤーを囲みながら参加者たちは村人たちと親交を深めました。参加者たちは2-5名のグループに分かれてアカ族の民家にホームステイしました。

2日目は朝からコーヒー豆の摘み取りに4つのグループに分かれて別々の農園に行きました。車で20-30もかかる山の中でした。真っ赤に熟したコーヒー豆を手で摘み、かごに入れ収穫を手伝いました。この作業を2-3時間ほど行い昼食に村の集会所に集まり、その後、それぞれの参加者から感想や意見が述べられました。殆ど全員、こうしたコーヒー豆の摘み取り作業は初めてで、感激していました。村人たちとの交流の機会もあり、コーヒーの生産から加工のプロセスを自分の目で見て学ぶことができ、有意義だったとの感想が殆どでした。午後4時に村を出発し、夕方6時半にチェンライ空港に着き、ツアーが完了しました。全員健康で、けがや病気もなく終了しました。













